

◎景気ウォッチャー調査[2023年11月]

2023年11月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を1.5ポイント上回る49.7となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルス感染症の心配もなく、客からの旅行の相談も多いため、景気はこれから大いに上昇するのみである。」(旅行代理店)、「今月は観光客の動きが大変活発だった。」(タクシー運転手)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を1.1ポイント上回る48.7となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「金属価格が高止まりで推移し、円安効果もあり収益は予算より伸びてきている。」(非鉄金属製造業)、「製造業関連の需要が堅調であり、設備投資の動きもあり全体の景気が良くなっている。」(輸送業)等の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.9ポイント上回る53.7となった。

雇用関連は、「人材紹介事業において、登録者数が前月比138%となっている。年明けや新年度の入社を目指し、転職活動が活発化し、企業からの案件受注も増加傾向にある。」(民間職業紹介機関)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を1.4ポイント上回る48.5となった。

	11月	10月	前月差
合計	49.7	48.2	1.5
家計動向関連	48.7	47.6	1.1
企業動向関連	53.7	50.8	2.9
雇用関連 (参考値)	48.5	47.1	1.4

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月と同ポイントの49.5となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「12月の繁忙期を迎えることや新型コロナウイルス感染症が終息し、4年ぶりに街が活気付いていることなどから、乗車率が良くなる。」(タクシー運転手)、「コロナ禍明け、数年ぶりの年末年始を迎えるに当たり、多くの人流が想定される。大都市に集中しているインバウンド需要が多少とはいえ徐々に地方に波及してくるを見込む。」(百貨店)等の理由から、「良くなる」、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を0.4ポイント上回る49.1となった。

企業動向関連は、「良くなる」、「やや良くなる」の回答の割合が減少したため、前月を0.1ポイント下回る52.2となった。

雇用関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「企業業績に連動しない人件費の上昇により、業績が悪化する。」(人材派遣会社)、「ここ数か月、新規求職者数の微増及び新規求人数の減少が続いており、これを解消するような明るい予兆はみられない。」(職業安定所)等の理由から、「やや悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を2.9ポイント下回る47.1となった。

	11月	10月	前月差
合計	49.5	49.5	0.0
家計動向関連	49.1	48.7	0.4
企業動向関連	52.2	52.3	-0.1
雇用関連 (参考値)	47.1	50.0	-2.9